



株式会社スカイ 2022年4月20日発行 URL: <https://www.sky-precut.jp/>

■本社 静岡県磐田市上野部2740-5
■関東営業所 神奈川県相模原市南区大野台3-25-17

TEL 0539-63-5500 FAX 0539-63-5633
TEL 042-704-6211 FAX 042-704-6212



ウッドショックは何を教えてくれたか

— 私達の将来 —

営業部 川合

ウッドショックの影響は多少落ち着きを見せたものの、現在でも資材不足、価格高騰があり、今年度もその影響を引き摺りながらスタートする事となりました。この様な状況の中でも、私達はお客様に必要とされ、頼られる存在でありたいと思っています。

今年度の営業部は、新たな組織編制を行い、営業担当が今まで以上に行動しやすい環境を構築していきます。お客様からのご要望にスピーディーに対応していく様、努めて参ります。

そして、建て方請け、木工事等の施工に関するサポートを実施していきます。施工のご相談も承っております。

商品としては、スカイパネルをプレカットと合わせて販売強化していきます。スカイパネルは真壁パネルで、面材に断熱材と枠材を組み上げた形で現場に納品していきます。職人不足問題を先に見据えて、現場省力化に貢献できる商品となっておりま。詳細は弊社営業担当からご説明させていただきます。

国際情勢をはじめ、容易に先の見えない状況ではありますが、皆様と一緒に乗り越えていきたいと願っています。

今後とも、㈱スカイをご用命頂きます様、宜しくお願致します。

工場管理部 齋藤

「発注した木材が予定通りに入荷しない」今までに経験した事がないような状況に戸惑ったウッドショック。私達工場管理部の役割の第一は、製品をお客様の希望に合わせて納品出来るよう加工していく事です。それが難しい状況になっていました。

しかし、お客様をはじめとして、関係各位のご協力により、乗り越える事の出来たあのウッドショックは、私達にも大きな効果を与えてくれました。

それは、「皆様にご用意して頂いた木材や制限のある在庫・材料の取り扱いに注意し、無駄なく使用する」という当然の事を、工場管理部として改めて考え行動するチャンスとして確認出来た事です。

昨年より、生産本部は資材部と工場管理部が合体して動き始めました。限られた資源の中、木材をどのように有効利用していくかという事は私達の命題です。木材の取り扱いに係る主体部署となった事で、今年度は今まで以上に資源を大切にし、お客様のニーズに合った商品を提供出来るよう努めていきます。

また、現在建設が進められているスカイパネル工場完成後には、生産性の向上も追及しつつ、スカイパネルが職場での職人不足の備えになる様、尽力していきます。

CAD設計部 古溝

昨年度を振り返りますと、繁忙期からウッドショックによる閑散期、そしてショック緩和後の繁忙期と、一年を通して非常に波の大きな年でした。今年度においても、長引くコロナ禍での物流の混乱、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響で、受注動向も大きな波が予想されます。

こういった中、CAD設計本部においては、「生産性の向上」を大きなテーマに取り組みを行っていきます。

まずは、組織、システム面からの生産性向上を目指します。システム面では現状、社内データベースを活用し、各メンバーの管理表を運用したり、データベースと連携したマクロを組み、書類作成の効率化を図っています。まだまだ生産性の向上は目指せるはず。設計業務は常にPCを使用し大量のデータを取り扱っている為、ITやAIの分野にも注目していきます。さらに、組織についても、現状のやり方に囚われず、新しいやり方も模索していきます。

また、受注量には常に波があり、急激に増加した場合、どうしても初期図面の作成が遅れてしまいます。中には図面作成が遅れる事で納期が間に合わず、受注できない事もあります。その為、外注を含めた初期入力量の向上で、瞬間的な生産能力の強化をしていきます。

小規模リフォームから大型物件まで

— スカイ建設部の仕事 —

「プレカット + 建て方 + 木工事を一括請負！」

建設部ではヘプレカット+αを掲げ、CLTやトラス組等の各種工法はもとより、高難度物件、非住宅施設系や中大規模木造物件の「建て方及び木工事」に関わる全てを一括請負いたします。

これにより、現場でのスムーズ且つ安全な工事作業に取り組んでおります。



◆画像①～③ N認定こども園（袋井市）

- ◆画像①・・・屋根部分は木造と鉄骨を絡めた混構造。
- ◆画像②③・・・内装に木をふんだんに利用。子供達がのびのびと過ごせる様な、開放感ある空間を実現。

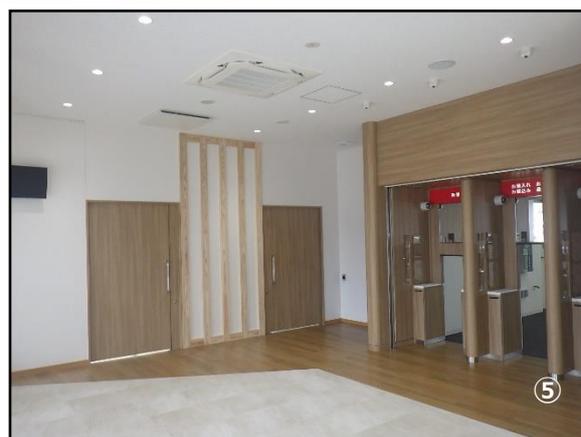
◆画像④⑤ E金融機関（浜松市）

- ◆画像④・・・天井ルーバーに木材を使用。
- ◆画像⑤・・・ATMコーナーには杉材を貼ったデザイン性の高い壁を採用。

当支店はゼブ（ZERO エネルギー施設）環境を意識した木質内装となっている。

【分離発注に対応した部分請け】

元請業者（ゼネコン等）と協業して、木部工事のサブコン機能を担います。物件に応じた内部工事、外部工事等の「部分請け」もお任せ下さい。



【技術伝承 若手大工の育成】

建設部では、20代、30代の若手社員
大工の育成に努めています。

それと同時に、外部との職人ネット
ワークを構築し、現場に応じたチーム
編成を組み、連携を強化しています。

また屋内施設（作業場）を増設し、造
材の加工をはじめとした多能工な技
術向上にも取り組んでいます。



【CLT・木質パネル等の 活用方法を提案】

弊社では、様々な加工に対応可能な
特殊加工機を導入しています。

これら機械を駆使し、CLTや木質
パネルを利用したオブジェや看板等も
自動加工が可能です。

また、木材を外部に使用したい場合
は、使用環境に適した特殊塗料を塗布
し、提供します。



◆画像⑥ CLTの端材から制作した球体オブジェ

E金融機関マスコットキャラクター。まずは半球を2つ作り、重ね合わせて1つの球体へ。

◆画像⑦ 贈呈品や記念品としての副産物



◆画像⑧～⑩ E金融機関（浜松市）

◆画像⑧・・・エントランスキャピーには、
直交集成材を用いた
日射遮蔽ルーバーを採用。

◆画像⑨・・・特殊な塗料を施すことで、
木目や色つやを活かし、
外部環境での劣化を軽減。

◆画像⑩・・・内装には木質パネルをベースに
様々な模様を施した
デザインウォールを設置。

【最後に】

昨今は、脱炭素という大き
な社会的潮流により、高層階
や大型施設の木造化が急速に
進んでいます。

これらに対応すべく、プレ
カット工場としての更なる機
械化促進と併せて、建設部で
は人手（職人不足）の両面を捉
え、物件に合った提案及び各
種提供をさせて頂きます。

建設部は工事機能を有した
木造ゼネコンとしての成長を
目指していきます。

●東海建設課

0539-62-9100

●関東建設課

042-768-8131

「経済大国・日本」の亡霊に縋りつく既得権者達 くまさかの札幌オリンピック誘致く

一醉三幸寮主

コロナ騒ぎも収束せず、加えてロシアによるウクライナ侵略で世界中が緊張と不安の昨今、あまりにノー天気な「札幌オリンピック」誘致話である。

呆れる、というよりも腹が立つほどの馬鹿馬鹿しさに、一体この国の指導的立場に居る輩の頭の中身を割って調べたい気分だ。

そもそも2020東京大会(2021年)の総括も済んでいないのに、その大赤字と大失敗を覆い隠すかのようになり再び狂騒曲を奏せようとは、あまりの不真面目さに、この国の終りを見ているようだ。

さて、この国の経済成長という段階がほぼストップした20世紀末から、既に30年余りが経過している。

1980年当時の私の生活感覚としては、「目指せ！年収一千万円」が、遠い願望の域から「もしかしたら、そうなるかも知れない」と思われ始めた時代と言っても良い頃であった。

それは敗戦から30数年しか経っていない頃のことである。

1960年頃では、金持ちを「百万長者」と呼んでいた。しかし、その

20年後には、「億万長者」が金持ちだと言う、高度経済成長の真最中となった。

その最盛期から、10数年経過する1990年頃まで、日本の経済成長は続いていたのだが、21世紀を眼の前にして、停滞と減少後退期に突入し、現在に至っている。

私の感覚では、日本経済及び社会の衰退原因の大なるものは「物づくり・技術革新・基礎研究」の放棄・軽視が社会に蔓延し、既に挽回不能に思えるほどになってしまっている事に尽きる。

金融政策(株式etc.投資)に傾斜しすぎた経済政策は、増々物づくりの価値を貶める方向に進む。

現物に依拠する経済は、富の偏差もほどほどだが、マネー数値に存するのみの富の偏差は無限となる。既に金融や投資市場は、馬鹿馬鹿しいほどに富の感覚を麻痺させている。それでも尚、富める者は更なる富を欲する。格差拡大再生産の原理である。

日本は既に「物づくりの尊重」を放棄し、「物づくりを金で買う」価値観へと変様した。

日本の失敗を眺めながら歩んでいる中国やインドに注目したのは、こうした実物経済と金融経済(＝実物・貨幣)のバランスを考慮した成長である。

彼等には、物づくりという価値の向上に重点を置いた政策を進めて欲しいと思う。

当然、物づくり人口の増加を支え、その為の物づくり価値(金銭的にも・精神的にも)の向上が無ければならない。

結局、何でも最後は形として頭われる。金融経済市場で、合法的ではあるが非道徳的に得た富を善しとする社会は、ただ歪んでいるだけでしょうか。

冒頭に戻るが、オリンピック招致という運動は、2020東京大会での裏金工作資金から始まって、不明朗極まり無い事態の再現を見せつけられるだけなのだろう。更には、メダル狂騒曲に明け暮れるだけの、内弁慶の大運動会は、勘弁してもらいたい。

実力ある者は、外に出て競争して欲しいものだ。

何はともあれ、競技者を餌にして、何らかの稼ぎをしたいと思う者達の招致活動など論外である。

新入社員紹介

今春、株式会社スカイへ3名の新入社員が入社しました。皆様、どうぞ宜しくお願いします。



※撮影時のみマスクを外しています

後列が新入社員です!

味を惹かれました。休日には音楽鑑賞や読書をして過ごしています。社会人となり、些細な変化に気づき、行動に移せる人になりたいと思います。

加藤

幼い頃から物作りが好きで、建築関係の仕事に就きたいと思っていました。卓球が得意で、学生時代部活で使用していた建物を、スカイがプレカットを行ったと知り、とても驚きました。これから色々なことを吸収し、後輩や上司、先輩方に頼られる存在になりたいです!

佐藤



※撮影時のみマスクを外しています

左から 加藤・荻原・佐藤

現在、研修中です!!

編集後記

新年度がスタートし、成人年齢の引き下げ等新たな制度も始まりました。自由が広がる半面、大きな責任もついてきます。彼らのお手本となる行動をする事が私達の役割だと認識している今日この頃です。

荻原